

gooddays

Vol. **6**

around KANDA NISHIKI - CHO
New Culture & Alternative Lifestyle

2016 AUTUMN ISSUE
PRICE 0 YEN





Good Wine, Good City

around KANDA NISHIKI - CHO

Special Issue **06** Autumn '16

神田錦町界隈、 ワインラバーが集まる街

TEXT・Yuki Motomura / PHOTO・Chie Maruyama

人通りの少なくなった夜の街を見渡してみると、ところどころに明るい光が漏れている場所がある。夜も更けて静まりかえった通りの様子とは対照的に活気あふれる店内では、みんなワインを片手におしゃべりを楽しんでいる。

ここ最近、少しずつではあるが、神田錦町界隈の夜の風景が変わってきた。

こだわりのワインを提供するカウンターバーやこぢんまりとしたピストロが、ぼつりぼつりと増えてきたのだ。

それだけではない。実は、専門性の高いセレクトをおこなうワインインポーターたちのオフィスも、神田錦町界隈にあるのをご存知だろうか。大手町や丸の内など東京の中心に近い好立地にありながら、流行に流されにくい落ち着いた

雰囲気が魅力的なのだという。

あるインポーターは、神田錦町界隈を“アルティザン=職人魂”を感じる街、と表現した。

街の雰囲気は、ワインの嗜好とも少なからず関係があるのかもしれない。

今回は、こだわりの神田錦町界隈に集まってきたワインラバーたちを紹介する。



GOOD DAYS STORY
Vol.
08

Message from
Hiroki Ida



ワインといっても産地やブドウの品種、収穫された年によってもそれぞれ異なり、その種類は数限りないですが、フランスのボルドー地方で造られているものを中心に取り扱っているのが、私たちアストルです。以前は神田鍛冶町にオフィスがあったのですが、5年前に神田錦町に移ってきました。

越してきた当初は、ワインを気軽に楽しめるようなお店はあまりないように感じていましたが、ここ数年で少しずつ増えてきて、夜の街がぐっと面白くなってきましたね。このあたりは古本街が近くあって、文化の薫りがする街なので、もともとワインとの相性は良いと思います。さらに、出版社や学校、病院など、ワイン好きが多い職種も集まっている、ポテンシャルのある街なんだと思います。

特に神田錦町界隈は、かつて職人の街だったと聞きました。飲食店も、何十年も続いている個人経営の店が根強く残っていますよね。私たちは扱うワインのカテゴリに「アルティザン＝職人」という言葉を使っていて、造り手の想いやこだわりをととても大事にしています。分野は違えど、職人魂を継承して

”職人文化が息づく街で、
アルティザン＝職人魂“を伝えたい
フランス・ボルドーの

いる街の雰囲気、シンパシーを感じています。

ワインのインポーターという仕事は、酒屋さんやレストランとのお取引引きがメインなので、基本的にはB to Bの商売です。ただ、ここに移転する決め手にもなったテイスティングセラーのある試飲スペースは、窓ガラスが大きく通りに面しているので、せっかくなら地元の方にもボルドーワインを楽しんでもらおうと、月に1回誰でも参加できる試飲会をはじめました。チーズの先生を呼んだり、演奏会をしたり、ちょっとしたイベントも企画しています。

今年の7月には、靖国通り沿いにワインバーをオープンしました。私たちが扱っているボルドーワインを気軽に楽しんでもらうためのアンテナショップですが、ワインはもちろん、ボルドーの食材や街の空気感も一緒に発信していけたらいいですね。神田錦町界隈は、これからもっと個性豊かなお店が増えていくと思います。私たちも、ワインやフランスの文化を通じて、街が活性化のお手伝いをしていきたいです。



THE GATE OF WINE

around KANDA NISHIKI-CHO

世界中から良質なワインを セレクトし、輸入する ワインインポーター

誰もが知る有名ブランドから、産地や製法に特化したものまで。神田錦町界隈には、専門性に優れた企業が集まっている。

01

株式会社アストル

巻頭インタビューにもご登場いただいた、フランス・ボルドー地方のワインを専門に扱う株式会社アストル。少数精鋭の会社ながらも、営業担当だけでなくシニアソムリエも在籍し、ボルドーワインの魅力を幅広く発信している。ワインの味はぶどうの良し悪しによって大きく左右されるといわれるが、いくつもの品種をいかにいいバランスでブレンドするかが匠の腕の見せ所なのだそう。「ボルドーワインは、ぶどうの品質が良いのももちろんですが、ブレンド技術に長けた職人の技が光るものが多いのが特徴です。生産者の方々のワイン造りにかける熱意を多くの人に知っていただきたいです」(シニアソムリエ・丸山隼太郎さん)

sa-astre.com



02

有限会社ヴァンクール

ここ数年でぐっと注目が高まってきた「ヴァン・ナチュール」(自然派ワイン)を専門に扱う。「ヴァン・ナチュール」とは、化学肥料や農薬などを使用せず作られたぶどうの天然酵母の働きだけによって醸造されたもので、ぶどうが持つエネルギーそのものを感じられるのが醍醐味なのだという。代表を務める池谷太輔さんは、まだ世界に広く知られる前にフランスで出会った「ヴァン・ナチュール」に衝撃を受けヴァンクールを立ち上げたそう。「神田錦町界隈にも「ヴァン・ナチュール」を扱うお店が少しずつ増えてきました。ぜひ一度味わっていただきたいです」(池谷さん)

vinscoeur.co.jp

005

03

MHD モエヘネシー ディアジオ株式会社

シャンパン、ワインをはじめ、ウイスキーやブランデーなど、高級酒類を専門に輸入・販売をおこなっている。扱うブランドは「ドンペリニヨン」「モエ・エ・シャンドン」や「ヴーヴ・クリコ」、「クリュッグ」、「シャンドン」など名だたる有名ブランドが多いのが特徴だ。高級ホテルやレストラン、百貨店、スーパーマーケットなどでも展開している。「みなさんに広く知っていただいているブランドを多く取り扱っているというのが当社の強みですね。特別な時だけでなく、是非、日頃からより多くの方に楽しんでいただきたいです」(パブリックアフェアーズマネジャー・牧陽子さん)

mhdhk.com



04

ベリー・ブラザーズ & ラッド日本支店

英国で300年以上もの歴史を持ち、英国王室御用達の指定も受ける由緒正しいワイン&スピリッツ商「ベリー・ブラザーズ&ラッド」の日本支店。ワイン業界の中でも最高峰といわれる資格「マスター・オブ・ワイン」は、世界でも350名ほどしかいないが、そのうち8名が在籍しており、同社のワインの買い付けを担当しているという。また、最新鋭の貯蔵庫を完備していることからワイン通の間では、状態の良さにも定評があるのだとか。「ワインインポーターの中でも歴史と伝統を重んじてきたので、とっつきにくいと思われるかもしれませんが、最近では神田錦町界隈のワインバーにも幅広く展開しています。ぜひ探してみてください」(マーケティング・コーディネーター・岩田シャーンさん)

bbr.co.jp (オンラインショップ)



006

※このページの掲載企業は、ワイン販売店舗ではありません。



GOOD HARMONY with WINE

神田錦町界隈で楽しむ、
ワインと料理の素敵な
ハーモニー

5




01

Bal Marrakech

大通りから一本入った路地りに佇む古民家バル・マラケシュでは、モロッコや南アフリカといった、いわゆる“ニューワールド”を中心とした珍しいワインが堪能できる。「スパイス×フレンチ」がテーマの料理は、王道のフレンチながら、スパイスやハーブをたっぷりきかせた異国情緒あふれるものが多い。もともと古本屋の倉庫だったという店内は、2階部分がロフトになっていて、解放感たっぷり。



 仔羊のアッシュバルマンティエ ¥680(税抜)

東京都千代田区神田神保町1-35
平日 17:00-23:30
土曜 16:00-23:00
日祝 定休

サケクジラ

“魚介と一緒に楽しむワイン”がテーマの魚介系ピストロ。毎朝築地で仕入れるという新鮮な魚介を使ったメニューは、「牡蠣のライムジュレ」や「イワシのタルティーヌ」など、ワインとのリアージュが考えられた洋風スタイル。ワインももちろん魚に合うものを中心に揃えられている。1階はカジュアルな立ち飲みスペース、2階は大きなテーブルを囲む食堂風、3階はおしゃれなカフェ風と、フロアごとに雰囲気さがらりと変わるのも面白い。

 牡蠣のライムジュレ ¥680(税抜)

東京都千代田区神田神保町1-31-3
平日 17:00-23:30 土曜 16:00-23:00
日祝 定休




02



03

L'EPIQUE (レピック)

フランス・ボルドー産のワインを専門に扱うインポーター・株式会社アストルが2016年7月にオープンしたカウンターバー。常時50種類以上のボルドーワインを取り揃えるほか、フランス出身の店主・セドリックのおばあちゃんのレシピをもとに作った特製料理を提供してくれる。古書店が並ぶ靖国通りに面し、仕事帰りに一杯、気軽に立ち寄ることができる。

 おばあちゃんのパテ ¥800(税抜)

東京都千代田区
神田神保町1-7-1
月～土 16:00-23:00
日祝 定休



04

ワイン食堂パパン

とことんワインを楽しみたいなら、ワイン食堂パパンがおすすめ。世界各国のワインが常時350種類以上揃い、クラシックなフランス料理とともに楽しむことができる。グラスワインも日替わりで17種類から選ぶことができ、180mlのたっぷりサイズで、満足感も十分。ワインも料理もとにかく種類が豊富なので、迷ったらソムリエの資格を持った店主に相談しよう。

 カスレ ¥1,830(税抜)

東京都千代田区神田錦町2-4
ダヴィンチ小川町1F
平日 17:00-23:00
土曜 17:00-23:00
日祝 定休

関山米穀店

小さなワイナリーで作られた自然派ワインを中心に、常時200種類以上を取り揃える人気店。ワイン通の店主のこだわりが光るセレクトはファンも多いのだとか。季節に応じた旬の食材を使ったタパスは、1つ1つが丁寧に作られていて、ワインとの相性も抜群。神田錦町界隈には珍しく、遅くまで開いているのもうれしいところ。

 フロマージュ・ド・テット ¥850(税抜)

東京都千代田区神田小川町3-9
AS ONE神田小川町ビル1F
平日・土日祝 17:00-25:00
不定休



05



国内外のアーティストが滞在し、制作・発表をおこなう「AIR 3331」。
そこで彼らが見たもの、感じたものとは。



" DRAWING WATER (DIG TOKYO 2016) "

「水」をテーマにしたオーストラリアのグリフィス大学
クイーンズランド・カレッジ・オブ・アート(QCA)と
東京藝術大学、女子美術大学の学生たちによる交流プロ
ジェクト。参加者は4つのチームに分かれ、「水」にま
つわる思い出や文化を共有し、作品へと昇華させた。

最初はブログなどのメディアを通じて言葉で交流し、
日本で共同制作をおこなったという。「オーストラリ
アと日本は同じ島国で、“水”でつながっています。
それぞれの歴史や文化の共通点を表現しました」
(東京藝術大学・鈴木沙知子さん)

Schedule

AIR3331

- フィオナ・マッカーク(スコットランド) / 滞在期間: 10/1(土)~12/23(金)
- クリス・ロメロ(アメリカ) / 滞在期間: 9/29(木)~11/30(水)
- サミュエーズ・リョン(香港) / 滞在期間: 7/15(金)~10/29(土)

※10/22(土)に上記3アーティストによるオープンスタジオが開催されます。その他のイベントも含め情報は、AIR3331
ホームページ(residence.3331.jp)やFacebookなどで随時発信いたします。

連載
企画

如月まみが案内する、神田錦町界隈の四季

錦町さんぽ

Vol.06

文・「神田錦町 如月」女将 如月まみ 写真・丸山智衣



神田錦町 如月

Kanda Nishiki-cho Kisaragi

酒場のおんな「如月まみ」が女将として立つ和食屋。如月まみが全国から
選び、取り寄せた旨し酒と肴に料理人多
賀谷が作り出す、和の味わいをお
楽しみください。

東京都千代田区神田錦町 2-3-10
TEL 03-3518-2212
kandanishiki-kisaragi.jp
月~土 17:00-22:00 / 日祝 定休



第6回

レトロなムードに惹かれる豆本の世界

小さい頃から本屋さんが大好きで、古本屋が立ち並ぶずらん通りはお
気に入りの散歩コースです。今回は豆本の専門店、呂古書房さんにお邪魔
しました。

手のひらに収まる小さな豆本は、作家さんの手で一冊一冊丁寧に作られ
たものが多く、繊細で美しい装丁に、思わず時間を忘れて没頭してしま
います。目利きのオーナーが毎週オークションで買い付けをおこなって
いるようで、1つ1つのセレクトにこだわりが感じられます。古いものだけ
でなく、ドローイングを収めたアーティストックなものまで、豆本の世界
は奥深いですね。その他にも、民謡の豆本や、歴史ある蝦夷豆本、版画
の挿絵本まで、気になるものがたくさん! またゆっくり訪れたいです。



呂古書房

Loco Shobou

神保町古書店唯一の豆本専門店。
版画挿絵本や限定本、蔵書票など
装丁の美しい書物が揃う。

東京都千代田区神田神保町 1-1
倉田ビル 4F
locoshobou.jimbou.net

月~土 10:30-18:30
日祝 定休



COFFEE COLLECTION around KANDA NISHIKI-CHO 2016 AUTUMN

Event Date:
2016/10/29 SAT - 10/30 SUN



～ Good coffee, Good culture ～

本物のコーヒー文化が根付く神田錦町で、世界最高峰の1杯が味わえる至福の「コーヒーコレクション」。2日間に渡り10店舗が出店し、こだわりのコーヒー(シングルオリジン)をハンドドリップで提供します。同じ条件で淹れられたコーヒーで、各名店が選んだ豆の味わいや焙煎方法の違い、バリスタの個性を体験してください。お気に入りの一杯を手にしたら、ぜひ街歩きをどうぞ。秋の神田があなたを待っています。

日時:10/29(土)～10/30(日) 11:00-18:00
メイン会場:テラススクエア
神田錦町エリアの会場:トラッドスクエア / Mi Cafeto Café & brasserie HITOTSUBASHI / L'Astre / HAPPY COOKING / 竹尾 見本帖本店

お問い合わせ:
COFFEE COLLECTION 実行委員会
(EDITORY 神保町内)
東京都千代田区神田神保町2-12-3 安富ビル4F
TEL 03-3263-0202(平日10:30-19:30)



TRANS ARTS TOKYO 2016

Event Date:
2016/10/15 SAT - 10/30 SUN



今回で5回目の節目を迎える、都市の様々な空間を舞台に実施されるクロスジャンルなアートプロジェクト。江戸から明治にかけて育まれた豊かな文化資源を持つ谷根千、湯島、本郷、上野、神保町、秋葉原、神田が「UP TOKYO」と括られ、これらエリアの各地で同時発的に新しいクリエイティブな世界が展開。国内外各地の100種類以上のクラフトビルが楽しめるイベントなども。

期間:10/15(土)～10/30(日)
会場:五十エリア、一八エリア、旧東京電機大学跡地、ワテラス、司3331、アーツ千代田3331、カフェ&和酒N3331 (マーチエキュート神田万世橋)

主催:TRANS ARTS TOKYO 2016
実行委員会 www.kanda-tat.com
事務局:一般社団法人非営利芸術活動団体コマンドN



アート縁日

かつて縁日が定期的に行われていた五十(ごとう)通りで、地域の人々と様々なジャンルのクリエイターらが連携してアート縁日を開催。アーティスト屋台や提灯、流しそうめんやLIVEパフォーマンス、さらにはアーティストのオリジナル山車(だし)も登場する。

10/29(土)
14:00-19:00(予定)
※荒天中止、雨天決行



池田晶紀ポートレイトプロジェクト

初年度から一貫して実施、それが地域やコミュニティに根ざしたものであることを象徴する、このイベントの顔とも言えるプロジェクト。会期中この街で生きる人々を撮り続けた結果、今回は過年度からの通算が100組に達しそう。その姿がビルや店舗の壁面に大きく展示される。街の主役ひとりひとりの存在感を感じてみよう。

第57回 東京名物神田古本まつり

Event Date:
2016/10/28 FRI - 11/6 SUN



参加店約100店舗、出品点数のべ100万(!)冊余りという、圧巻のボリュームで実施される歴史ある古本まつり。靖国通り沿いの歩道に出現する約500mにも渡る「本の回廊」でお目当てを探したり、博物館や美術館でしか見られない希少な書籍に出会ったりと、様々なかたちで本との巡り会いを楽しめる。

主催:神田古書店連盟
共催:千代田区
お問い合わせ:神田古書店連盟
TEL:03-3293-0161(代)

◎特選古書即売展

期間:10/28(金)～10/30(日)
10:00-18:00(最終日17:00終了)
会場:東京古書会館地下催事場
(千代田区神田小川町3-22)

◎青空掘り出し市

期間:10/28(金)～11/6(日)
10:00-19:00(最終日18:00終了。雨天中止)
会場:岩波会場(神保町交差点)
靖国通り会場(駿河台下～専大前交差点)

第26回 神保町ブックフェスティバル

Event Date:
2016/10/29 SAT - 10/30 SUN



「神田古本まつり」と同時期開催、オープニングセレモニーとパレードに始まり、和太鼓やキューバ音楽などの演奏、寄席、そしてもちろんワゴンセールや講演会、紙すき体験などの本にまつわるイベントも目押しという、盛大なブックフェスティバル。この街らしいスペシャルな「読書の秋」を過ごせることを期待したい。

主催:10/29(土)～10/30(日) 10:00-18:00
※屋外イベントは雨天中止の場合あり
会場:神田すずらん通り、さくら通り、救世軍前広場、神保町三井ビルディング公開空地
主催:神保町ブックフェスティバル実行委員会

TERRACE SQUARE PHOTO EXHIBITION #4

「土の記憶 Reminiscence of clay」宮濱祐美子

Event Date:
2016/10/3 MON - 12/22 THU



器や花器などの、土を用いて人の手により造作された、何かを受け止めるための入れもの。それらが絵画的な手法により写し取られた諸作品には、何気ない日常に潜み新鮮な驚きと美を浮かび上がらせるものがあります。土から始まる「工芸、色、花、祈り」をテーマに、書籍、雑誌、広告などで活躍中の作者が切り取る、ものたちの「記憶」の世界。

期間:10/3(月)～12/22(木) 時間:8:00-20:00 ※土日は休館
※トークイベント&レセプションパーティーは11/18(金)19:00～
会場:テラススクエア1Fエントランスロビー



WINE ISSUE
ワイン特集でご紹介した場所

A Day with Art / 錦町さんぽ
本誌連載にてご紹介したお店

Event / New Venue
神田錦町界隈のイベント/新店舗

有限会社
ヴァンクール



gooddays

グッズ・チヤイス 2016.10.20 発行 / 発行・編集：グッドモーニングズ株式会社 水代 楼 www.goodmornings.co.jp

